

風のマンダラ都市
ジャイプルの伝統的建築を参照した立体マンダラ建築の考案
Breezing Mandala City
Architecture as Sterical Mandala Referring to Traditional Space of Jaipur



ポイドを中心とした同一平面が垂直方向に連続する、伝統的建築が集合して形成されているジャイプルでは、そこで暮らす人びとにとって水平に広がる2次元的な都市空間が実際の生活の場であり、そして彼らの世界観の素地を形作っていた。

立体マンダラ建築は、「空」を中心する伝統的建築のあり方を、現代的に発展させることを志向し、ポイドを三次元的に構造化して地上と屋上をつなげることで、都市空間を三次元的な都市空間に展開させることができる。

一つのポイドを中心とした建築に一つの世界観の素地がある。

人びとは風に包まれて、様々なポイドを、「世界」を渡り歩いていく。

こうして立体マンダラ都市へ進化するのである。

風のマンダラ都市となるのである。





